

「規制改革推進会議WGの意見」に関する緊急要請を実施 －JA自己改革の確立に向けて－

規制改革推進会議・農業ワーキンググループが11月11日に発表した「農協改革に関する意見」を受け、JAグループ栃木は21日に東京都で「JA自己改革等にかかる栃木県緊急要請集会」を開催しました。

県内JAの組合長等常勤役員・連合会役職員43名が参加しました。本県選出国會議員（西川公也議員・築和生議員・佐藤勉議員・高橋克法議員・渡辺美知太郎議員）に対し、「『農協改革に関する意見』の内容は断じて認めることはできない。これらの内容が取りまとめに反映されることがないよう進めてもらいたい」旨の要請を行いました。

要請を受けた国會議員からは、「農家、JAの皆さんが不利益にならないよう取り組んでいく」「国が自主的な組織である協同組合に介入することは許されない」等のコメントをいただきました。

本県要請集会に先立ち、全国のJAグループ1,500人が参加した「JA自己改革等に関する緊急集会」に参加しました。「『農協改革に関する意見』は「自主・自立の協同組合の理念に反するものであり、認めることはできない。自己改革の実践が重要である」とする決議を採択しました。

今後JAグループは、自己改革を後押しする内容が与党とりまとめになるよう働きかけるとともに、JAグループの果たしている役割・自己改革の姿勢等を明確に示すため、対外情報発信の強化に取り組めます。



【国會議員に要請する本県JAグループ】

JA農産物直売所へGO! 【第2回】県内統一キャンペーン当選者抽選会を実施

9月1日(木)から県内38店舗のJA農産物直売所で展開した【第2回】県内統一キャンペーンが、10月31日(月)で終了しました。本キャンペーンは、昨年度に引き続き「みんなのよい食プロジェクト」の認知度向上と本県産農畜産物の消費拡大による「農業者の所得増大」を図るとともに、JA農産物直売所の販売力強化を目的に実施しました。

実施結果は、【第1回】キャンペーン前(H26)の売上高に比べ、約1億3千万円の増加となり、目標としていた「キャンペーン前(H26)の売上高+1億円」を達成しました。キャンペーンに応募した利用者からは、「旬の野菜がとてもおいしい。毎日利用している。」「スーパーに並ばないような野菜には、レシピや試食があるといい。」など多くの感想や要望が寄せられました。

中央会では11月10日(木)に抽選会を実施し、17,058人の応募の中から、合計500名の当選者を選出し、当選者に11月中に賞品を順次発送しました。

今後は、キャンペーンを通して得られたこれらの意見・要望やキャンペーン期間中の売上高・客数・客単価等を集計・分析し、直売所の運営改善や販売力強化に役立てるとともに、第3回キャンペーンの実施についても検討することとしています。



【抽選会の様子】

経済事業等内部統制の整備について

改正農協法により、平成31年度からJAの監査が新たな監査制度（会計士監査）に移行されます。このため、JAは監査法人と監査契約を締結することになりますが、監査報酬は監査法人が個別にJAの規模やリスクに応じて監査工数（人日数）を見積もりすることになります。

従って、平成30年度までに、経済事業等の内部統制について自ら課題を改善（内部統制を整備＝事務処理マニュアルの整備）する必要があることから、10月31日（月）に「経済事業等内部統制研修会」を開催しました。内部統制整備の必要性を再確認するとともに、会計士監査着眼のポイントやチェックリストの活用方法、今後の取組みスケジュールなどについて理解を深めました。

JAでは、リスク管理部署等が中心となって、内部統制整備に取り組むこととなりますが、本会では、今後、JA毎に個別検討会（11～12月）を開催するとともに、購買・販売事業等の事務処理マニュアル等のひな形を提供する予定です。

<スケジュール>

年度	J A	中央会・監査機構
28	①担当部署の設置 ②重要勘定の洗い出し → 関係現業部門の特定 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ③個別検討会の開催 11～12月 JA (担当部署・内部監査部署・関係現業部署) + 中央会 </div>	①重要勘定基準（例）の提示 ②チェックリストの策定 ③全体説明会（10/31）
	④チェックリストによる課題の洗い出し 担当部署がチェックリストに基づき、自JAの課題の洗い出しを行う。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 担当部署による進捗管理 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 60%;"> ⑤課題改善策の策定 現業部署が課題改善案を策定する。必要に応じ、事務のマニュアル化・見直しを進める。 </div> </div>	④事務マニュアル（例）の作成（28～29年度）提案 ⑤随時JA支援・提案
29	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ⑦内部監査部署による運用評価 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ⑥監査機構による運用評価 </div>
30	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ⑥課題・改善策に応じ順次運用開始 必要に応じ、改善策の見直し </div>	
31	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 監査法人による内部統制評価（→監査工数の決定） </div>	
31	会計士監査開始	

事業計画樹立・実践研修会を開催

「JA改革を踏まえた、わがJAの経営戦略」～地域のど真ん中にあるJA～

11月8日(火)に、事業計画樹立・実践研修会を開催し、JA・連合会役職員90名が参加しました。講師として、ふくしま未来農業協同組合 菅野孝志 組合長を招き、菅野組合長からは、昭和47年に松川町農協に入組し、営農指導員として働き始めてからの経験を基に

- (1) 「いいと思ったことはやろうよ」という実践の心得
- (2) 本当に農協を支えている人は誰かを見極めた事業展開
- (3) 組合員活動をプロデュース・コーディネートする職員となる仕掛け
- (4) 活力の源は女性であり、女性参画への取り組み
- (5) 経営トップのマスコミ等に対する情報発信力の発揮

等の実践事例として、①Aコープ松川店の事業展開、②営農・経済事業推進大会の開催、③担い手支援チーム「AST」活動、④(株)新ふくしまファームの遊休農地未然防止対策、⑤女性組織の生活・文化活動や女性職員の農産物販促活動、⑥合併による担い手育成積立金・地域暮らし活動積立金創設による財源確保など、経営者として経営理念、JA綱領の実現に向けた熱い想いを講演いただきました。

改正農協法の5年後検討条項等を踏まえ、JAは27年度JA栃木県大会で決議した地域実態を踏まえた創造的自己改革を成し遂げて、組合員やJAグループ外部からの評価を高めることが求められています。このため、3か年計画の重点実施分野の地域戦略・事業戦略等に基づき、毎年の単年度計画として実施事項・数値目標を策定し、適切な進捗管理を行う必要があります。

自己改革の必要性や5年後検討条項に対する危機感を改めて共有し、これから樹立する29年度計画を創造的自己改革の第2年度として着実に改革がすすむものとする事が求められます。



【講演する菅野組合長】

JA 栃木青年部連盟の活動報告

－①JA 栃木青年大会の開催、②国会議員へ要請－

1. JA 栃木青年大会を開催

JA 栃木青年部連盟は、11月8日（火）に日光市の鬼怒川観光ホテルで平成28年度JA 栃木青年大会を開催しました。

青年部盟友が青年組織の創意工夫ある活動事例を発表する組織活動実績発表と、自らの農業体験や農業への希望・意見・提言等を発表する意見発表、そして学習会を行い、7組織から盟友ら約150名が参加しました。

組織活動実績発表の部では、様々なイベントへの取り組みを未来に種を蒔く活動とし、臨場感ある発表態度が評価されたJA なす南青年部なかがわ支部（発表者:笹沼巧氏）が最優秀賞に選ばれました。

意見発表の部では、農業経営の経費圧縮や規模拡大について、漏れ樽を例えに分かりやすくメリハリのある発表が評価されたJA うつのみや青壮年部河内支部 黒崎浩史氏が最優秀賞に選ばれました。



【JA なす南青年部 笹沼氏】



【JA うつのみや青壮年部 黒崎氏】

＜審査結果＞

組織活動実績発表の部				
賞	組織名	発表者	演題	
最優秀賞	JA なす南青年部 なかがわ支部	笹沼 巧	未来に種を蒔く	
優秀賞	JA おやま青年部 絹支部	添野 貴之	私たちの青年部活動	
	JA しおのや青年部 矢板支部	澳原 大介	食と農の伝道師	
意見発表の部				
賞	組織名	発表者	演題	
最優秀賞	JA うつのみや青壮年部 河内支部	黒崎 浩史	稲穂の誓い	
優秀賞	JA かみつが青年部 北押原支部	谷田部久志	これからの農業と私	
	JA はが野青壮年部 市貝支部	森口 千里	縁	
	JA なすの青年部 大田原支部	印南 英樹	農業とのあゆみ	

学習会では、全国農協青年組織協議会参与の天笠淳家氏が「ポリシーブックの活用に向けて」と題して講演を行い、JA 青（壮）年部の政策・方針集であるポリシーブックに取り組む意義や他県の取り組み事例について理解を深めました。

なお、最優秀賞を受賞した2名は、12月15日（木）に東京都で行われる関東甲信越地区農協青年組織協議会発表大会に栃木県代表として出場します。

2. 国会議員に要請

11月16日(水)、JA栃木青年部連盟の富貴澤委員長ら3名が衆参議院会館を訪れ西川公也衆議院議員や築和生衆議院議員を含む6名の栃木県選出自民党国会議員に対して要請活動を行いました。

前日の全国農協青年組織協議会主催の会議で承認されたTPP交渉や農協改革、30年産生産調整の見直しや収入保険制度について要請を行いました。

要請を受けた国会議員からは「引き続き青年農業者と連携し農業振興に尽力したい」とのコメントをいただきました。



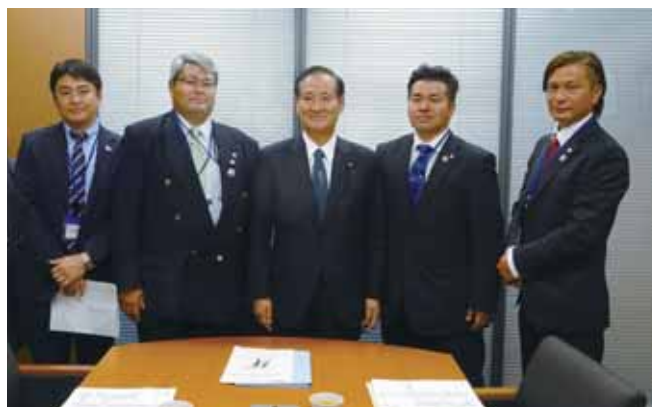
【上野通子議員への要請】



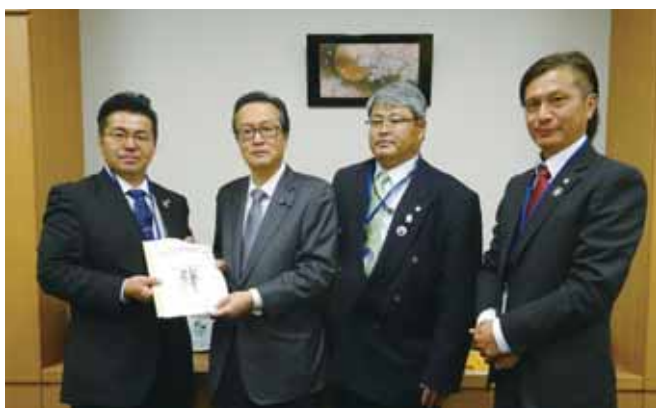
【高橋克法議員への要請】



【築和生議員への要請】



【西川公也議員への要請】



【船田元議員への要請】



【渡辺美知太郎議員への要請】

JA栃木青年部連盟では、今後も米消費拡大事業等を実施し、地域農業の振興と組織活動の活性化を図っていきます。

栃木県JA広報活動コンクール

栃木県優秀記事・写真コンクール表彰式を開催

1. 栃木県JA広報活動コンクール

JA広報活動の中から優れた事例を表彰し、JA広報機能の一層の強化を目指して、JA栃木中央会が主催しています。8月29日(月)の審査会で下記の受賞JAが決定し、11月17日(木)に表彰式を行いました。

受賞JAについては、本会よりJA全中主催の平成28年度JA広報大賞へ推薦しました。

<審査結果>

部 門	賞	JA名
総合の部	最優秀賞	JAおやま
	優秀賞	JAうつのみや
組合員向け広報誌の部	最優秀賞	JAおやま
	優秀賞	JAしおのや
地域密着型広報活動の部	最優秀賞	JAうつのみや
	優秀賞	JAしおのや
ホームページの部	最優秀賞	JA佐野
	優秀賞	JAおやま

<講評>

(1) JAおやま 〔総合の部、組合員向け広報誌の部で最優秀賞〕

- ① 組合員向け広報誌では、幅広い年代の組合員を登場させ、親しみの持てる紙面となっている。特に毎号の「特集」は、JA事業を分かりやすく特集し、組合員の理解を促すものとなっている。
- ② コミュニティー誌では、地域住民にJAや農業、食に対する正しい知識を深めてもらうことを目指し、消費者でも関心を持ちやすい話題を分かりやすく伝えている。
- ③ ホームページは更新頻度が高く、食農教育や青年部・女性会活動のページが充実しており、消費者へのJA事業・活動のアピールとなっている。
- ④ トップ広報やマス媒体の活用を積極的に行う他、職場内報による職員間情報共有や、日本農業新聞・家の光の組合員普及運動にも力を入れている。

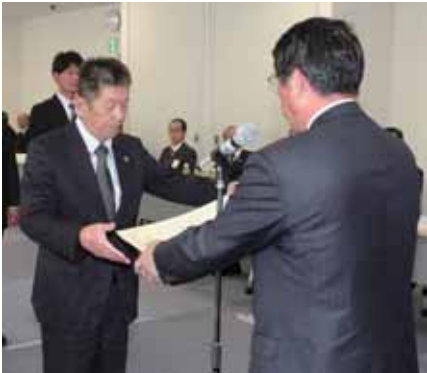
(2) JAうつのみや 〔地域密着型広報活動の部で最優秀賞〕

- ① コミュニティー誌では、読者ターゲットを農業に関心のある中高年女性とその家族、20～50代の主婦を中心としたファミリー層と若年層とに明確に分け、効果的なPR活動ができるように取材・記事掲載している。
- ② 広報誌、ホームページ等でトップ広報を積極的に行う他、職場内報による職員間情報共有や、日本農業新聞・家の光の組合員普及運動にも力を入れている。

(3) JA佐野〔ホームページの部で最優秀賞〕

- ① メインターゲットを組合員・消費者とし、閲覧者が欲しい情報をすぐ見つけれられるようなサイト構成、親しみやすく温もりあるデザインにしている。文章も柔らかい文体にするなど工夫している。
- ② トップページから各SNSにアクセスでき、アクセス数が高い。更新頻度も高く、今後もリピーターの増加が予想され、さらなるアクセス数向上が期待できる。

<表彰式の様子>



【総合の部、組合員向け広報誌の部で最優秀賞を受賞したJAおやま】

【地域密着型広報活動の部で最優秀賞を受賞したJAうつのみや】

【ホームページの部で最優秀賞を受賞したJA佐野】

2. 栃木県優秀記事・写真コンクール

日本農業新聞やJA広報誌の記事や写真の中から優れた事例を表彰し、JA広報担当者や日本農業新聞特別通信員の資質の向上を目指して、JA栃木中央会が主催しています。10JAから優秀記事の部16点、優秀写真の部16点の応募を得て、8月29日(月)の審査会で下記の受賞者が決定し、11月17日(木)に表彰式を行いました。

<審査結果>

部 門	賞	J A 名	氏 名
優秀記事の部	最優秀賞	JAおやま	近藤 里奈
	優 秀 賞	JAしおのや	高瀬 智美
		JAなすの	小川 遊
	優 良 賞	JAはが野	亀田久美子
		JAしもつけ	田沼 洋律
優秀写真の部	最優秀賞	JAはが野	亀田久美子
	優 秀 賞	JAなすの	小川 遊
	優 良 賞	JAおやま	湯本あかり
		JAなす南	大森美菜子

《平成28年度栃木県優秀記事・写真コンクール 最優秀賞作品》

1. 優秀記事の部

【最優秀賞】JAおやま 近藤里奈 「食るとき 思い出して」

(平成28年7月20日(水)、日本農業新聞とちぎ版掲載)



2. 優秀写真の部

【最優秀賞】JAはが野 亀田久美子 「収穫の喜び」

(JAはが野広報誌 平成27年11月号掲載)



コンプライアンス通信 Vol.2

—人事ローテーションと連続職場離脱の必要性—

東証二部上場会社の社員が、経理担当者の立場を利用し横領していたが、人事異動の内示を受けて、自ら不正を申告したとの報道がありました。他部署に移り、横領を隠ぺいするための経理操作ができなくなることから観念してのことのようです。この事件のように、人事異動がきっかけで横領事件が発覚するケースは少なくありません。

農水省の監督指針等では、定期的な人事異動（ローテーション）や連続職場離脱の実施を求めています。これは不祥事未然防止の意図です。

横領は、上司や同僚、監査人の目を欺くために、通帳や帳簿を操作したり、取引記録を改ざんしたりしながら、延々と隠ぺい工作を繰り返さなければならないため、次第に以下のような兆候がみられるようになる場合があります。

「こんな職員いませんか？」

- 休暇を取らない。また休暇なのに出勤したり、自宅や旅行先から頻繁に、組合員・顧客に連絡を入れる。
- 朝は一番に出勤し、最後まで残業で残っている。
- 郵便物の開封や在庫の確認、現金・帳簿の点検等までやろうとする。
- 仕事が終わらないとして、度々、業務関連の書類を持ち帰る。

役員や管理職は、人事ローテーションや連続職場離脱、不正リスク管理のためにも不可欠だという認識を新たにして、特に職場離脱については、取得中のチェックを図らなければならないのです。

休暇も取らずにがんばる部下や同僚がいたら、「仕事熱心だ」と手放しで感心したり、ほめるのではなく、「なんでそんなに忙しいのだろう。もしかしたら何かを隠していることがあるのでは・・・」と考える必要があるかもしれません。JAの職場にそのような懐疑心は不要でありたいとは思いますが、あまり忙しそうにしているJA職員をみつけたら「休めないの？」と声をかけてあげてください。かかえる仕事量や質から、本当に忙しい場合、メンタルヘルスにならないよう、声かけは重要です。

【直近(29年1月施行)の法改正に伴う諸規程の変更】

- ①育児・介護休業法 ②男女雇用機会均等法
・育児・介護休業規程 ・介護休業等に関する規程 ・賞罰規程 等

電算センターニュース

1. 年末・年始における電算システムの稼働とメール搬送について

システム名等	12/30 金	12/31 土	1/1 日	1/2 月	1/3 火	1/4 水
J A S T E M (注1)	8:00 ~ 20:00	→	→	→	非稼働	8:00 ~ 20:00
A T M (注2)	8:00 ~ 21:00	9:00 ~ 17:00	→	→	非稼働	8:00 ~ 21:00
全国総合ポイント	8:00 ~ 22:00	→	→	→	→	→
全国印鑑 Compass-JA 出資金 共済資金収納管理 利用者総合情報 農業簿記記帳代行接続 資産査定補助 電子帳票	8:00 ~ 20:00	非稼働	→	→	→	8:00 ~ 20:00
販売	8:00 ~ 19:00	非稼働	→	→	→	8:00 ~ 19:00
購買 農業簿記記帳代行 資産査定支援	8:00 ~ 21:00	→	→	→	→	→
メール搬送	有	無	→	→	→	有

(注1) 12/31 ~ 1/2の間は、照会等の休日取引のみとなります。

(注2) 12/30・1/4は、ATMごとに設定した稼働時間が優先されます。

※ 12/29 ~ 1/3の間は、電算センターの業務システム担当者は不在となります。

教育センターレポート

－JA中核人材育成研修会・群馬県中核人材研修生との交流会を開催－

10月20日(木)～21日(金)にかけて、本県の中核人材研修生19名と群馬県中核人材研修生22名が参加し、群馬県の教育センターで交流会を開催しました。

この交流会は、栃木県・群馬県の中核人材育成研修生が、JA事業等に関する情報交換やグループ研究を通じて相互に交流し、今後のネットワークづくりを目的に実施しています。

交流会では、始めに各部門(管理・信用・共済・営農・経済)に分かれてJA事業等に関する情報交換を行いました。

続いて、「JAの事業戦略を考える」をテーマに、JAの組合員・利用者満足を高めるため、今後のJA事業戦略(新たな事業方式、新たな商品・サービス等)を8グループに分かれて2日間にわたり研究しました。

グループ研究の発表として、①農産物のブランド戦略、②地域の廃校を活用した農業体験テーマパークの創設、③ショッピングモールへの共済窓口の開設などの提案が出ました。

この交流を通じ、研究の成果を各JAの活動に生かしていただくとともに、今後の群馬県と栃木県の研修生のネットワークづくりの一助となることを期待いたします。



【グループ研究を行う研修生】



【グループ研究の結果を発表する研修生】

－JA中核人材育成フォロー研修会を開催－

11月8日(火)～9日(水)にかけて、JA中核人材育成フォロー研修会を開催し、11組織29名が参加しました。

この研修会は、JA中核人材育成研修会の修了生に対し、JAの組織・事業運営に関する課題等について研修し、将来の幹部職員としての意識高揚をはかることを目的に実施するもので、今回は6期生(26年度)および7期生(27年度)が参加しました。

初日は、①情勢報告として「JAグループ自己改革をめぐる情勢と自己改革の確実な実践」と題し、JA中央会の野口参事から説明を受けました。その後、部門毎に分かれ「JAの自己改革に向けた事業提案」をテーマに、JAの自己改革を進めるために栃木県のJAはどのような取り組みを行ったらよいかグループ研究を行い、最後に発表を行いました。

2日目は、「リーダーシップの発揮と強化」と題し、(株)マネジメントサーブ代表取締役 武田康裕氏を講師に、事業提案力と交渉力を高めるための研修を受けました。武田氏は、「事業成功のカギは、時代の1つ先を読むこと。そのためには、日々真剣に問題意識をもって目の前の問題に取り組めるかが大切。」であり、「交渉力を高める秘訣は、『呼応の原理』に基づいて、いかに相手に受け入れられるよう独自の法則を見つけられるか。そのためには日々訓練することが大切。」と話しました。参加者からは、「学んだことを明日から実践していきたい」等の感想が聞かれました。

今後修了生(6・7期)からは「自JAの自己改革に向けた事業提案」について、課題レポートを提出してもらうこととしています。



【グループ研修を行う修了生】

－OJT研修会を開催－

「OJT研修会」を10月25日(火)～26日(水)に開催し、10組織の26名が受講しました。

この研修は、ライン管理職および係長を対象として、部下の業務遂行能力とモラルの向上をはかるため、部下育成の柱であるOJTのすすめ方やコーチング等について研修し、管理職としての資質の向上をはかることを目的に実施しています。

1日目は、「新人・若手の立場になって考える」「OJTとは何か」「育成計画を立てる」について、2日目は「OJTの進め方」「ティーチングとコーチングの違い」等について、個人・グループワークを通じて学ぶとともに、ロールプレイングによる実習を実施しました。

受講者からは「自分のダメな所を認識できた」「部下とのコミュニケーションに活かしたい」「コーチングの時に活かしたい」などの感想が聞かれました。

ライン管理職および係長は、部下に対する指示やその報告、相談を受けることなどの機会をとらえ、OJTによって部下育成を具体的に実践しなければならない重要な立場にあります。

今回の研修で学んだことを活かして、各職場における人材育成が効果的に実践されることを期待します。



【グループ討議の結果を発表する受講生】

—上級管理者研修会を開催—

「上級管理者研修会」を10月12日(水)・19日(水)、11月1日(木)の3日間実施し、8組織21名が参加しました。

この研修会は、階層別基礎研修の最上位研修として部・課長職を対象に、幹部職に必要な経営戦略に関する理論や、事業戦略の立て方などについて学び、経営管理能力の向上を目的としています。

初回は、「農家力の向上とJAの現場力強化、攻めの組織・事業戦略の実践」というテーマで、(株)A・ライフ・デザイン代表取締役 伊藤 喜代次氏を講師に、今日的な経営戦略の立て方について学びました。

伊藤氏は、「人・組織の強みと得意なことに焦点を合わせ、それをもっと伸ばし、強化することを最優先したほうが良い。」「そのため、将来どんな組織価値のあるJAを目指すか、10年後の姿を描くこと。そして定性目標、数値目標を立てて実行すること。」と話しました。

2回目は、経営戦略論、マーケティング論について学び、3回目は、JAびえい(北海道)のケースメソッド(事例を用いた討議形式の授業)を行った後、今後の自部門の事業戦略を立てました。

受講者からは、「強みを伸ばすことが将来のカギとなることを学んだ。」「事業戦略の方向性を考える良い機会になった。」などの感想が寄せられました。

今後、各組織において、学んだことを今後の事業戦略に反映し実行されることを期待いたします。



【グループ討議を行う受講者】

J A教育センター主催の12月・1月の研修会等の開催予定は下記のとおりです。

日 程	研 修 会 名	対 象 者
12月1日	リーダー養成研修会 1班	中堅職員研修会を受講した一般職員
12月2日	内部監査士受験対策研修会③	内部監査士検定試験 受験者
12月5日	JA中核人材育成研修会②⑥	将来の幹部職員候補者
12月6日、7日	リーダー養成研修会 2班	中堅職員研修会を受講した一般職員
12月8日	非常勤役員研修会 後期1班	非常勤理事・監事
12月9日	新入職員2年目フォロー研修会 1班	入組2年目の職員
12月12日	資格認証試験(特級) 論文試験	特級 筆記試験合格者
12月12日	内部監査士受験対策研修会④	内部監査士検定試験 受験者
12月13日	非常勤役員研修会 後期2班	非常勤理事・監事
12月14日	新入職員2年目フォロー研修会 2班	入組2年目の職員
12月15日	新入職員2年目フォロー研修会 3班	入組2年目の職員
12月19日	内部監査士受験対策研修会⑤	内部監査士検定試験 受験者
12月22日	JA中核人材育成研修会②⑦	将来の幹部職員候補者
1月6日	内部監査士受験対策研修会⑥	内部監査士検定試験 受験者
1月12日	JA中核人材育成研修会 修了式	将来の幹部職員候補者
1月16日	新入職員3年目フォロー研修会 1班	入組3年目の職員
1月18日	新入職員3年目フォロー研修会 2班	入組3年目の職員
1月19日	内部監査士受験対策研修会⑦	内部監査士検定試験 受験者
1月20日	新入職員3年目フォロー研修会 3班	入組3年目の職員

※受講申込は、J A栃木教育センターまで。

(TEL : 028-616-8560 FAX : 028-616-8594 E-mail : kyouiku@tcchu-ja.or.jp)



消費者へ農業理解促進の一環として、下野新聞に毎月1回「ふお-you とちぎJAプラザ」を掲載しています。

ここで、アンケートを実施し、紙面に対する感想が寄せられていますので、一部ご紹介します。今後の事業取り組みの参考にして下さい。

～9月18日掲載 テーマ JAしおのやの「菌床しいたけ」～

【しいたけについて】

- ・菌床栽培の高品質・安全生産という特徴や、しいたけの選び方が分かってよかった。
- ・夢のある農業の記事を読み、しいたけの生産に感心しました。分かって食べるのと知らないで食べるのではぐっと違いますからね。それに次ぐお役立ちレシピが良かったです。
- ・新聞やラジオで、JAとちぎの話題に触れることが増えたように思います。子供が小さいため食べ物に関心を持つようになりました。直売所では生産者が分かり、新鮮・安全なものが得られると感じています。今回のしいたけの記事は初めて知ることが多く、とても興味深かったです。
- ・しいたけの见えない部分は想像しながら手をかけることが重要という小川部会長さんの言葉が印象に残りました。愛情いっぱい育てられた農産物たちを感謝し、おいしく頂きたいと思えます。

【JAの取り組みについて】

- ・小山の磯貝さん、脱サラして就農の大変さを実感しているとのこと、こういう若者が増えて欲しいです。
- ・食料品を作る作業は大変だと思います。近年の気候では特にと思います。若い人が営農に携わることによってうれしさと安心を覚えます。何事にも負けず頑張ってください。
- ・森友直売所について紹介されていたので楽しく読みました。週に2～3回利用し、特にお盆の時の生花はいろいろあり便利です。野菜も安心して買うことが出来て助かります。
- ・顔写真が載っていると記事がとても分かりやすく感じます。「次代を担う」では、力をしっかりつけたい、という言葉の重みを感じました。農業は大変です。雨も風も暑さもあり、生産者の方々のお陰でおいしい物が食べられる事に感謝です。

理事会だより

平成28年11月11日(金)に第8回理事会が開催されました。

(協議事項)

- (1) 第2回 JAグループ栃木 大規模災害統一訓練の実施について
平成29年1月13日に実施する統一訓練実施内容が承認されました。

(報告事項)

- (1) 会計士監査にかかる内部統制整備について
- (2) JAグループ栃木の職員採用に係る課題と対応について
- (3) 担い手サポートセンターの取り組みについて
- (4) 下野新聞JAプラザふぉーyou読者アンケート結果について
- (5) 平成28年度「日本農業新聞」普及運動の結果について(11月初号)
- (6) 平成28年度「家の光」12月号普及活用運動の結果について

平成29年1月主要行事予定表

	総務企画部	担い手サポートセンター	農業くらし推進部		経営指導部	電算企画運用部	電算開発部	教育部	全国監査機構 栃木県監査部
			農業ライン	くらしライン					
1 日									
2 月									
3 火									
4 水									
5 木	中央会連合会役員新年挨拶巡回								
6 金				図画作文コンクール表彰式				内部監査士受験対策⑥	
7 土									
8 日									
9 月									
10 火									
11 水		TACアグリビジネススクール⑧							県中監査Ⅲ・資産鑑定(1/11~2/3) 佐野・なす青
12 木								中核人材育成研修会修了式	
13 金	理事会・運営委員会等				大規模災害(BCP)統一訓練				
14 土									
15 日									
16 月					ES先行JA管理者研修会			新入職員3年目・1班	はが野・かみつが
17 火	総務調整会議				専務務務会経営実務部会				
18 水				はい食統一街宣 くらしの活動推進大会				新入職員3年目・2班	
19 木								内部監査士受験対策⑦	なすの
20 金								新入職員3年目・3班	
21 土									
22 日									
23 月									
24 火				JA全国女性大会				農業高校との教育研究会	なすの
25 水									
26 木									
27 金		営農認証2級試験①		栃木県フレッシュコミュニティ交流会					
28 土									
29 日									
30 月	退職準備セミナー								
31 火									